

令和7年度

北島小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 主体的・対話的で深い学びを実現する学習指導方法の改善
- 学び合いを深めるための、望ましい学習規律・学習習慣の確立

校長

学力向上推進員

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○基礎的・基本的な知識・技能が身に付いている児童が比較的多く、課題に真面目に取り組む児童が多い。</p> <p>●文章や資料を正しく読み取ること。</p> <p>●相手や場面に応じた話し方をする。</p> <p>●集中して聞くこと。</p>	<p>・学習ルールが定着している。</p> <p>・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けることができる。(単元末テストで8割達成できる児童を8割以上)</p> <p>・身に付けた知識・技能を他の学習や生活の場面において、活用することができる。</p>	<p>・発問や板書の工夫、教材の精選、ICTの活用等で、分かる授業をする。</p> <p>・ドリルタイムや宿題を活用し、基礎的・基本的な内容の学習を継続する。</p> <p>・読書・音読を積極的に取り入れる。</p> <p>・可能な範囲で教科担任制を取り入れ、教材研究を深める。</p>	<p>・個人懇談で学習への取り組み方や理解度について保護者に知らせ、家庭と保護者が協力して個々の学力向上を目指す。</p>	<p>・漢字や計算など、基本的な学習は、タブレットを活用し、個に応じた反復練習ができた。</p> <p>・相手や場面に応じた話し方については、個人差が大きく、継続して取り組むことが必要である。</p>	<p>・個別に支援が必要な児童への手立てや、指導体制を改善する。</p> <p>・どの教科においても、問題文を読み取ることに課題が見られるので、文章題に慣れさせる手立てを工夫する。</p>

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○教師や友達の意見をしっかりと聞き、肯定的に受け取る児童が多い。</p> <p>●自分の考えを分かりやすく話したり、書いたりすること。</p> <p>●友達の意見を聞いて、さらに自分の考えを深めること。</p>	<p>・目的や相手を意識し、根拠や理由を明らかにして、積極的に自分の考えを話したり書いたりすることができる。</p> <p>・友達の考えのよさに気付いたり、自分の考えと比べたりして、さらに考えを深めることができる。</p>	<p>・聴き方・話し方・話形・声の大きさのモデルを示す。</p> <p>・どの教科においても書く時間を確保し、自分の考えをもたせ、発表場面を設定する。</p> <p>・ペア学習やグループ学習を効果的に取り入れ、話し合い活動を充実させる。</p>	<p>・ペア学習やグループ学習の前に個人で考える時間を確保する。</p> <p>・話し合い活動の中で、意見の類似点や相違点を見つける場面を設定する。</p>	<p>・聞き方、話し方のモデルを意識して、話したり聞いたりできる児童が増えてきた。</p> <p>・話すことが苦手な児童も、ペア学習やグループ学習を取り入れることで少しずつ話そうとする意欲が高まってきた。</p>	<p>・グループ学習の進め方のモデルを示し、互いの意見を聞き合って考えを深められるようにする。</p> <p>・文章や話の内容を的確につかめるよう、授業の中でまとめをする場面を設定する。</p>

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○学習に対して真面目に取り組むことができる。</p> <p>○家庭学習の習慣が定着している児童が多い。</p> <p>●自分の意見や思いを話したり、書いたりすること。</p> <p>●自ら課題を見つけ、主体的に学習すること。</p> <p>●困難な課題に対して、あきらめず取り組むこと。</p>	<p>・学習規律が身に付き、進んで学習に取り組んだり、発表したりすることができる。(1日1回以上発表できる児童を8割以上)</p> <p>・学習活動に見通しをもち、課題に落ち着いて取り組むことができる。</p> <p>・困難な課題に対して、粘り強く取り組むことができる。</p>	<p>・「授業のスタンダード」を活用する。</p> <p>・ペア活動やグループ活動を効果的に取り入れ、互いに考えを伝え合い、学び合える場を設定する。</p> <p>・めあて、まとめを明確にし、学習の振り返りをする時間を確保し、次の学習への意欲を高める。</p> <p>・ICTを効果的に活用し、意欲を高める工夫をする。</p>	<p>・学習を振り返り、できるようになったことを自覚させ、次の学習意欲へとつなげる。</p> <p>・研究授業を通して、教職員間で効果的な指導法について研修を深める。</p>	<p>・宿題や学習課題に真面目に粘り強く取り組める児童が増えてきた。</p> <p>・ICTを活用することで、主体的に学習に取り組める場面が増えた。</p>	<p>・引き続き「授業のスタンダード」を活用し、学習規律をより高めていく。</p> <p>・教材研究の時間を確保し、教材や発問を工夫し、分かる授業を目指す。</p>